

【「えべつ未来づくりビジョン＜第6次江別市総合計画＞」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
1	—	子育て支援	2才の子供と札幌から今年1月に江別に来ましたが、もっとこうすればよいのと思う事が色々ありましたので意見させていただきます。 子供の支援センターが、午後までの場所が「すすく」の1ヶ所しかない。野幌の人達は近くていいのですが、大麻のママたちはいつもそうゆうのが大麻にもあればいいのね！と言ってます。 もっと、若い人達が子供とすごしやすい街にしていけば、江別は、子供にとってよい環境だねとなり、人口も増えもっと、街全体が活発化すると思います。 子供と遊べる施設(夕方位まで)をたくさん作り、もっと若い人達を外に出ていける街作り(産業活性化)をしていけばよいのではないのでしょうか。今、江別に来て、施設が少なすぎて、札幌まででいいです。もっと子供向けの施設を作ってください。 1人の子供をもつ親の意見でした。よろしくをお願いします。	不明	大麻地区
2	—	公園	公園も多いのですが、幼児があそぶのには少しあぶない。もう少し幼児などもたのしめる作りしてほしい。(すべり台のかいだんのすきまが広く、おちました)		
3	—	全体	(I)始めに ア)旧来からあるカタカナ語以外のカタカナ(スコップとかデレキ)は解るが、解らないカタカナを市政だよりにとこの計画書に書くのか？80代の人解らないと思う。		
4	—	江別市の現状	イ)5月号の市の歳入出が市政たよりに出たが赤ん坊～高齢者迄1人当たりの借金が解らない様に書いてある。		
5	—	都市基盤(市営住宅)	(II)なぜ人口が減少するのか？ ア)市営住宅に力点を置き過ぎていないか？(1人老人にしては広過ぎないかな)		
6	—	任環境(高齢者)	(1)老人施設を国道市の関係で考えてはどうか。		
7	—	子育て支援	子育て (2)女性の出産、3年育児休暇があるが、例えば、市内にある会社を調査しているのでしょうか？		
8	—	子育て支援	(3)3才児等の預る場所は充分ですか？待機児童はいませんか？		
9	—	就業環境	(4)江別の中・高・大の学生の受入れ先がありますか？(札幌迄行かなくても市内で・・・)		
10	—	産業	(5)工業団地の利用の程度は？	70歳代	江別地区
11	—	都市基盤	III環境について ア)自動車はなぜ必要か？ (1)買い物の場所が遠い		
12	—	都市基盤(道路環境)	(2)自転車は歩道ではなく車道になったので使いづらい。又道路排水の穴があってそれをさける為中央近くに出る。排水を考えられないか(市道について)		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
13	—	都市基盤(道路環境)	イ)歩行者は安全について (1)市道の歩道の傾度はX/1000と思うけどXは?冬期私でさえ危険と思う処がある。		
14	—	観光	IV要望 (ア)江別にホテル等が充分かな?		
15	—	観光	(イ)昔は江別から石狩迄夏場舟を出して石狩川の観光を多くの人に楽しんでた。私も子供の時乗舟した事がある。何年か前珍鳥もいた。出来ればと。		
16	—	雪対策	(ウ)昨年大雪で車の中とかで数名が亡くなりました。住宅のある所は良いけど、市道で1km以内に住宅があると良いけれど(地球温暖化で雪が重くなっています。S40年代迄ダイヤモンドダストが降っていました)		
17	—	計画策定への市民参加	1 計画策定への市民参加について 5000人のまちづくり市民アンケートについては新しい取り組みとして評価するが、えべつ未来市民会議委員をアンケート対象者に限定して選考したことは、市民参加の計画づくりの正しいあり方ではない。新しい総合計画の策定に重大な関心と意見を有し、参加意欲を持ちながら市民アンケートの対象にならなかったために、同会議から排除され、以後の行政審議会への参加機会も奪われたことは、参加意欲を有する市民にとっては不当な扱いであると言わざるを得ない。未来市民会議の学識委員からも、同会議の最終とりまとめの際に傍聴に参加してきた市民にも発言を求めるべきでないかとの提案があったにもかかわらず無視し、未来市民会議がすべてとした強硬な手法は適切な形とは言えない。 加えて、計画素案を検討する行政審議会の市民委員は広く市民から公募すべきであるにもかかわらず、未来市民会議の委員に限定して選考し、総合計画の素案作りに関心と意欲を持ち、未来市民会議を真剣に傍聴し、参加の機会を願っていた市民に、応募の機会すら与えていないことには強い怒りすら覚える。行政審議会への市民参加についての意見提案を提出したが、行政審議会は専門家に専門的な意見を聞くものであり、普通の市民の参加は必要ない、したがって公募の必要がない、市民からはパブリックコメントで意見を出してもらうからそれでいいとの回答であったが、江別市自治基本条例の重要政策の決定の市民参加の本旨に反するものでないかとの疑念を禁じ得ない。 さらに、選考された行政審議会の委員は、市内の主要団体の会長等が全体の3分の2であり、未来市民会議の委員だった学識経験者と市民3人(この中の2人は市内主要公職者)である。これでは市民感情から遠い上から目線の意見になりかねない。専門家による審議という名目で市民を排除した根回し対策のための審議会と言わざるを得ない。		
18	—	計画策定への市民参加	素案の段階で市民説明会が行われたことは評価するが、各界各層との意見交換が先行し、そうした団体等の役員でなく、参加機会のない市民への説明が後回しになっていることも理解しがたい。各界各層の代表を集めた行政審議会があり、意見もきいているわけだからそのような機会に乏しい市民への説明と意見交換が最優先されるべきである。		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
19	—	計画策定への市民参加	<p>また、総合計画素案に意見があれば、パブリックコメントを提出すればいいということだが、回答の義務がなく、採択するかどう評価するかは市の判断で、どこでどう議論されるのかも明確でないパブリックコメントが市民参加のすべてとされることは、理解しがたい。計画の決定前に市民に対する説明と意見を聴く機会を設けるべきである。そこから、新しい総合計画に市民が賛同し、その推進に参加していく道が開かれるはずである。</p> <p>新しい総合計画素案の項目と直接関係がないなどの理由で、この意見がパブリックコメントの公表から除外されるようなことがないことを強く願うものである。</p>	70歳代	大麻地区
20	—	江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿	<p>2 江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿について</p> <p>人口減少社会が到来することを強く意識しているが、地域の活力に大きい影響があるのは、GDP(市民総生産)であり、高齢化社会の到来は市民の所得の縮減が避けられないことである。江別市の内外から得られる市民の所得がどうなるか考え、その所得をどう確保していくかが課題である。一人当たりの所得が増えるなら人口が減っても市民生活は豊かになるのではないか。一面的な人口減少対策でなく、市民総生産(所得)の視点から再点検すべきである。</p>		
21	—	江別市を取り巻く社会動向・めざすまちの姿	<p>また、「経済 —景気の低迷—」では、日本全体の状況に終始し、江別市がどうなるのかについて全く言及がない。市民としては江別市がどうなるか、市民生活にどんな影響があるか、行政や市民が何をすべきかが重要である。(4)地方分権、(5)環境、(6)市民協働、(7)安全・安心と同様に求められている方向性を明らかにして行くべきである。</p>		
22	21・22	自然・環境	<p>3 まちづくり政策について</p> <p>(1)自然・環境 人と自然の共生及び循環型社会の形成について</p> <p>再生可能エネルギーの推進及びごみ資源化の推進については現状追認で消極的である。</p> <p>これまでの施策の追認ではなく、再生可能エネルギーの推進とリンクした、ごみや下水道汚泥・家畜糞尿・食品残渣など多様な廃棄物のエネルギー利用を考えるべきである。</p>		
23	23・24	産業	<p>(2)産業について</p> <p>農業・商工業・観光に限定して産業政策の方向を示しているが、5次計画の産業振興の発想から進展がない。江別市の産業構造から見ると建設・環境・医療介護・教育等を産業として位置づけ、その推進方向と施策の展開を明らかにすべきであり、江別市のGDPを確保していくためには総合的な産業政策の展開が欠かせないことから計画案ではきちんと考え方を盛り込むべきである。行政審議会の委員が農業・商工業・観光の3業種の団体代表に限定されていることも発想と検討の乏しさにつながっているのではないか。</p>		
24	29・30	都市基盤	<p>(3)都市基盤について</p> <p>江別の顔づくりは野幌地区の整備が他の地域とどう関連するのかが見えないし、他の地域の市民は無関心である。顔づくりが市全体の市民生活に及ぼす効果を明らかにする必要がある。</p>		
25	29	都市基盤	<p>計画的な土地利用については、鉄道駅周辺を中心に集約するとしているが、鉄道だけでなく国道12号線をはじめとする幹線道路を生かす都市的土地利用を推進すべきであり、人口減少と高齢化に対応するコンパクトシティの定着を明確にすべきである。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
26	29	都市基盤	上下水道の整備については、市民にとって他の手段を選ぶことができない財であることから、利用料金のあり方、コスト低減、管理体制の見直しが盛り込まれるべきである。		
27	30	都市基盤	交通環境の充実の冬期間の交通の確保については、生活道路の除雪事業者の対応が不適切で、市民ニーズに適切に対応しておらず、市民が過大な負担を余儀なくされていることが多い。降雪量の多い時には緊急車両の乗入れが数日間もできない安心して生活ができない実態があり、やむ得ず札幌に転居する高齢者が後を絶たない。こうした事情を認識した冬と雪に強いまちづくりの方向を明らかにし、市民に安心感を持たせるべきである。		
28	—	戦略2	江別市の将来像は、その特性である農業に基本をおいた産業の創出、企業の誘致等による活性化である。そのためには、産・学・官の連携が必要。戦略2に全く同感です。		
29	—	観光都市基盤	観光面で提案します。市には観光客を呼び込むような”これ”といった名所、目玉が無い。私は石狩川の河川敷を利用して、素晴らしい「桜の並木道」を作って老若男女が楽しめる名所として売り出して欲しい。日本人には桜が一番似合います。是非実現してほしい。	80歳代	野幌地区
30	—	安全・安心	防災 特に石狩川、千歳川など支流の河川と隣り合せの地域に存在する関係上、十年に一度には遭遇している水害対策にも考慮いたし、『防災マップ』等を作成して欲しいです。	70歳代	野幌地区
			<p>★江別小学校跡に、現存するレンガ校舎など活用して都市防災広場、市民手作り美術館&市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場) ←情報革命、地元情報で心つなぐ</p> <p>★道立工業試験場跡(消防本部隣)に、都市防災広場、江別市役所のつぼろ出張所&市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場) ←地元情報発信の公平化進めよ、こころつなぐ情報プラザ ※広告広場利用料(ただし閲覧は無料) パネル展示、出典市民1人当たり「1m×2m=枠含め2㎡以内」企業もこれに準ずる。(料金1日当たり100円、1か月1000円、1か年10000円くらいかな?)</p> <p>●市役所等:各種広報・・・ ●地元選出議員の活動その提案と報告など。</p> <p>●町内会:隣町内の年間計画、市民祭り等・・・</p> <p>●企業:各種広告宣伝、食堂のおしながき、農家の良心市広告、病院等の健康指導ポスター等々・・・</p> <p>●個人:家財バーゲンのお知らせ、起業ポスター応援してくれる人を募集、趣味の成果プレゼンポスター(発表)、個人の写真展、お話相手募集で孤立化防ぐ、また随筆発表など・・・</p> <p>●グループ:個人に同じ、ボランティア募集、さらに例えば石狩川江別ヨットクラブの案内、小中高大学等の児童生徒学生教師などのプレゼンポスターでの研究成果発表など・・・</p> <p>※内容は自己責任で公序良俗に反しない限り自由</p>	70歳代	野幌地区

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
31	—	—	<p>(解説等)・・・公民館等ロビーで寂しそうにお弁当食べる老人多い・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者の集客広報作業と経費が軽くなる。併設施設の開館時間内であれば自由に閲覧でき、のっぼろ出張所や市民手作り美術館と併設することで管理人件費を軽減できる。 ・情報は宝、高齢化社会では、インターネット難民が続出するかも。現在でも通信費高く、国民年金など年金生活者の多くは高い料金のネット接続を維持することはできていない。さらに若い世代はネットを活用しているだろうか。中年世代の携帯電話は音声通信のみが多く、メールは僅か。さらに更に高齢者世帯は時間があるにしてもテレビとラジオと新聞、図書、雑誌のみ、ここで漏れているのは農家の良心市や食堂の情報発信が容易でないこと。その状況を改善し補完するのが公営の市民情報ポスター交流プラザ(※広告広場)。またネット通信の入口にもなり費用の軽減にもつながるだろう。資金力のある企業だけでなく個人や零細事業者の地元情報発信を可能にしよう。 ・江別地区の活性化に寄与、とくに商店などの詳しい情報を発信できるかも。 ・旅行者が集まるかも。道外からの旅行者は先ず※交流広場での情報収集のため江別へ ・生涯学習に有効かも。成果発表の「場」ができれば高齢化社会の活性化促すかも。 ・手作り美術館:これから時間かけ検討する。絵画や陶芸作品などはどこに展示されているのだろうか。今後の私の時々の議論はツイッターで公開 @hanagirinosato(花霧聖雲)よろしくね。 		
32	21	循環型社会の形成	<p>循環型社会の形成についてですが、具体的な施策を提示して欲しい。循環型社会を目指すのであれば、プラ容器ごみのリサイクルをするべきだと思います。プラ容器ごみは「プラスチック容器包装リサイクル法」でリサイクルの流れがすでに構築され、札幌市や岩見沢市を含め道内でも多くの自治体が回収を実施しており、多くの拠出金を受け取っている自治体もあるようです。ごみ削減の観点からも絶大な効果があると思います。(家庭ごみの6割がプラ容器との統計もあり)</p> <p>以前、同様の提案を市のホームページからしたところ「燃えるごみとして焼却し市の施設で使う電力を賄っている」との回答でしたが、石油資源は燃やさずに材料として再資源化すべきだと思います。もし焼却して電力化した方が、経済的にも資源的にも有利になるのであれば、焼却しても良いのかもしれませんが、その際はプラ容器ごみの回収は無償化すべきだと思います。拠出金の原資は商品価格に転嫁されるなどして、市民が負担していると思います。この拠出金を市が受け取らずに有償で回収するということは、市民は二重に負担させられている事になっていると思います。</p>	50歳代	江別地区
33	30	交通環境の充実	<p>交通環境の充実についてですが、除雪の格差を無くして欲しい。</p> <p>一作シーズンの大雪(60cm程度の積雪)の際、除雪が入らずに住民が大変苦勞したことがあり、電話で除雪を依頼したところ、15時頃に道路を挟んだ隣接地のみ除雪し戻って行きました。また、一作シーズン、昨シーズンを含めて同様に大雪の際に、隣接地のみ除雪し戻って行ったことがありました。このような格差は無くしてください。予算の関係もあるのですが、その割にはシーズン終わり頃に無用だと思われる排雪を行い、その後の降雪時除雪に来なかったこともありました。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
34	2	江別市のあゆみ	<p>素案の基本的な考え方の<江別市の歩み>を訂正してください。 議会の検討委員会でも指摘されていますが、北越殖民社が明治22年開拓に入り、その後、野幌森林公園が消滅する危機を救って、江別市の発展に大きく貢献した事実を記載していません。ここは先住アイヌの問題とともにきちんと修正することを求めます。</p>		
35	—	—	<p>■ 総合計画について、昨年8月には「市町村は、議会の議決をへてその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定めなければならない」とした地方自治法の条項が削除されました。理由は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画は、策定する際には一大イベントとなるものの、出来上がってしまえばお飾りに等しいのが実態であった。(この点は毎年検証する必要があります) ・ 1つの市町村が2つの政策体系を持つという事態が生じたのである。首長候補がmanifestoを掲げて当選すれば、その政策は有権者の信任を得たことになる。ところが一方で、市町村には議会が議決した総合計画がある。そうするとmanifestoと総合計画をすり合わせる作業が必要になった。(期間が10年というのは問題で、せいぜい4年の任期にあわせるべきではないでしょうか) <p>■ 廃止後の市町村の選択肢は3つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合計画は策定せず個別計画で対応する ②行政の任意計画として策定する ③条例で議会の議決事項に定めて策定する <p>江別市は今回③の議会の議決事項に定めて策定することを決めたのですが、私は①か②が良いと考えます。少なくとも、①から③のどれを選択するかは、市民を含め議論が必要だったと思うのですが、いきなり第6次の総合計画作成に突き進みました。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
36	—	成果指標	<p>■ 議論をするベースとして、第5次総合計画について、検証が必要です。 例えば、江別市が今まで行った大型投資を振り返ると、病院事業に100億円。ゴミ焼却炉に90億円、野幌駅前再開発に350億円（推計値）等々の巨額の投資が、行われていますが、実施に際し、市民に対して十分な説明や議論もなく、投資の効果や成果目標もあいまいなまま行われ、しかも年々投資の効果が検証されることなく、今日に至っています。</p> <p>野幌駅前開発の投資を行う際の市民説明会に、期待される成果を当時の小川市長に質問したところ、1以上であるとのことですが、私の求めた答えは例えば、①投資の結果、江別市の人口が10年後16万人を維持できる。②再開発により商店街や産業が発展し、税収が年間30億円乃至50億円の増収を期待できるといった具体的な成果目標でした。今回の第6次総合計画についても、この計画を実施するのに、予算はいくら必要で、その財源は10年間にどのようにして調達可能であり、どの事業を行えば、人口が10年後に16万人を維持できるのかとか、市民税の税収がこれこれの理由で180億円期待できるといった具体的な成果目標を提示できていません。</p> <p>具体的な成果目標がない計画は「作文」であり、検証できないので、計画とはいえないのではないのでしょうか。なぜなら、成果目標が明らかでない計画は、単なる夢物語か希望でしかないし、成果があってもなくても誰も責任を取ることもなく、単なる決意表明に過ぎないからです。そして、どんな個別事業を行っても、政策1～09のどれかに該当します。</p> <p>これでは、全く危機感がない机上の計画だと思うのです。 その結果、財政が破綻したりしても、いよいよになれば、日本の国が救済してくれると考えているとしか思えません。しかし今の時代は、国自体が破綻するかどうかという厳しい状況です。したがって、地方自治体は自己責任で運営することを強く求められています。</p>		
37	—	—	<p>■ 今回の素案を読んで、更に説明会に出席をして、この素案は時間と多くの人の手をかけたにも係わらず、出来た素案は、結果、上にも書かれているように、お飾りに等しいものが出来上がっていると思います。</p> <p>なぜ、計画をつくる必要があるかという厳しい認識が無いからです。具体的な計画がなければ江別市はどうか、万一財政破綻をしたら、その時責任は誰がとるのか、現状の認識が甘いと言わざるを得ません。</p>		
38	—	—	<p>次に、計画をつくる人は誰なのかということも大切です。当然首長です。でも素案の作成に首長はどんな役割を果たしたのですか。 本来、首長は世界や日本の国の現状と将来を考え、その観点から今後の江別市をこんなまちにしたいし、こんな街を実現するために「総合計画」の「基本ビジョン」をつかって、市民に説明し、賛同を求めるべきではないでしょうか。</p>		
39	—	成果指標	<p>人口を3年後には12万9000人にする。そのためには、こんな特徴のある街にする必要がある。といった基本的な成果目標が必要です。そしてそのことを実現するための強い決意の表明が必要です。</p>	不明	大麻地区
40	—	産業	<p>そして市民に江別市は世界に向け、貿易を行うための輸出戦略を策定すること。（農産物なのか工業製品なのか健康産業なのか観光なのかは明らかにする必要があると思います）。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン＜第6次江別市総合計画＞」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
41	—	—	江別市の問題点は何か。解決の方法はあるのか。ビジョンが必要です。 どの街にも通用する一般的な街づくりでなく、江別市にしか出来ない個性的な街とはどんな街なのかを示し、議論し、その上で②行政の任意計画としての総合計画を作るべきです。 前の計画の期限が切れるから作るといった事務的なやり方ではダメだと思います。		
42	—	—	■ 今の江別市は札幌という巨大な都市の隣に位置しているという立地条件の良さで、大学もあり、自然環境に恵まれて農業を中心に発展してきましたが、今後の人口減少社会に生き残るには、何をすべきかが明らかになってはいません。		
43	—	産業	農業を支える人の年齢も高齢化しています。農業は今後世界的な食糧難も予想される中で、成長部門だと思われます。しかし現状のやり方では無理でしょう。そこで戦略的な農業経営に切り替えていくことは、大切な方向だと思いますが、果たしてこれからの農業を支える母体はいるのか、誰なのか。人材を育てながら、新しい農業にチャレンジする戦略を試行錯誤することは、今一番必要なことだと思います。株式会社にするとか規模を大きくし世界の農業の中で、勝ち残っていくには、素材で売るだけでなく、加工品、工業製品化も検討するべきでしょう。それから、人材の育成もどうするか。資本はどう集めるか。資本主義農業にいかにか早く転換するかが勝負の分かれ目だと思います。(テレビで北海道がシンガポールやインドネシアに北海道の商品を展示販売するアンテナショップを計画しているとのニュースが放映されていました。こんなチャンスを生かすことが先だと思います)		
44	—	産業	■ 江別市の弱みは、現状に満足している高齢者が多く住み続けているが、産業や勤務先がないため、子供は地元を離れて、東京や内地に行ってしまう。それなのに、江別市は今住んでいる人が満足しているから、将来は安泰と考えていて、その結果、商店街は衰退し、わかい人はいないが今が大丈夫なら、今後も大丈夫といったおかしな思い込みで、総合計画をつくっている。大きな間違いを犯していると思います。		
45	—	産業	個別計画としては、人口を増やし、消費を活発にして商店街や産業を活性化するのが一番だと思いますが、隣の札幌市の人々が江別市に来て買う仕掛けが出来れば、それもいいのではないかと思います。そのためには「道の駅えべつ」をつくるのがいいのではないのでしょうか。「とんでんファーム」を核店舗として「町村牧場」とか「スイーツの店」を組み合わせた「江別ブランド」の野菜や肉や牛乳の加工品や食事もある道の駅を作ることが、街の宣伝にもなるし、ブランド化も進めることが可能だと思います。江別市もバックアップをして、是非江別ブランドを確立するよう頑張ってください。 農産物の直売所は江別市民を対象とした販売所として存続は可能だと思います。両立は可能ではないのでしょうか。		
46	—	観光	更に「やきもの市」も今後もっと新しい展開を考えてはいかがでしょうか。2日間のイベントから脱却して、1ヶ月とかの長期に開催することも面白いのではないのでしょうか。 集客力はあるのですから、是非検討をして見て下さい。		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
47	—	—	<p>第149回直木賞を江別市在住の「桜木紫乃」さんが受賞されました。読売新聞のインタビューを読むと「30代半ばまで過ごした釧路やその周辺が作品の舞台として頭に浮かんでくる」</p> <p>とのことで、今後も小説の舞台は釧路や道東とのことです。しかし、現在江別市に住んでいる桜木さんに対し、江別市の働きかけは全然見えてきません。釧路市と比べると情けない限りです。本来は江別市がもっと積極的に働きかけて、江別市を日本中に売り込むチャンスと捉えても、おかしくないのではないのでしょうか。</p>		
48	—	観光	<p>先日の函館市でのグレイのコンサートのニュースを見て、グレイの存在が函館市の今後の発展に大きな役割を果たすと思いました。インタビューに答えて、函館市に観光に行きたい、もう一度来たいという人を増やして、観光産業の中心的役割を果たしているように思えます。今はブランドの時代です。</p> <p>江別は野幌森林公園という素晴らしい自然公園を持っています。その他江別ブランドの顔として活躍を期待したいものです。</p>		
49	—	—	<p>私は、現住所に居住を始めてから丁度10年になる年金生活者で、夫婦二人暮らしの者です。</p> <p>但し、41年前の結婚以来頻繁に来ていましたので、札幌や江別のこの40年間の変化についてそれなりに承知しています。また、現住所が「江別の顔づくり事業」のうち区画整理対象地区になっているので、「まちづくり」には関心があり、加えて、職業上の経験から都市交通には特に関心があるので、それらを中心に意見を述べます。</p> <p>まず、素案を通読致しましたが、基本的に以下の問題があります。</p> <p>① 前回の第5次計画の結果検証とその評価がなされていない。＝時系列的考慮が示されていない。</p> <p>一昨年8月の意見募集時にも述べましたが、前回計画(第5次計画)の実施状況について、それは今回計画作策定の前提となるものであるが、2年前には「新総合計画の策定方式」に関する意見募集であったので、その時点では已むをえないと考えたが、新計画の策定に当たっては前回計画の検証・評価を周知してもらいたい旨述べたが、結局今回もその評価が記されていない。</p> <p>10年に一度の総合計画であるから、前回はどうかであったのか、何が出来て何が出来なかったのか。それはなぜなのか、と言った分析が示されないのでは、一般市民は今回の素案が妥当なのかどうなのか判断出来ない。極めて重要な総合計画であるから、今回の検討委員会でも前回計画の評価について話し合われたのであろうから、その内容を先ずは明記すべきである。時系列的評価無くしては、今回素案の妥当性を判断できない。そのような評価は物事を決める時の前提条件であり、極めて重要なことである。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
50	—	—	<p>② 江別市の現状に関する認識が不十分である。＝ 近隣諸都市との比較等、相対的評価がない、足りない。 江別市の現状。素案に示された人口等の数値はそれなりに正しいものであろうが、それがどのような意味を持つのかについての分析がない。人口が減り始めたというが、それは前計画の策定時点でもある程度予測がついていたのではないかと。「江別の顔づくり事業」の策定に当たっては、江別の将来人口が15万人とも、18万人とも想定し、それに見合う都市改造が必要、と述べられていたが、現実には素案に有るように2005年をピークに人口は減少し始めた。にもかかわらず都市計画決定を強行し、最近では「顔づくり事業は人口減少にも対応したものである」と市の公式文書にあり、これは計画の前提が破たんしたことを認めようとする言辞であるばかりか、態度の豹変ともいえるものである。この様な考え方をする人々に、新計画を語る資格はないのではないかと。また、江別市の近隣都市との比較についても具体的な言及がなく、ただ「札幌市に隣接している云々」と記されているのみである。大都市との関連で都市型農業については素案で言及されているが、江別市民の相当数が札幌に職場を持つという、いわゆる「札幌のベッドタウン」としての認識が十分でない。類似の位置にある北広島市や恵庭市、千歳市等との相対比較による江別の現状はどうなっているのか。岩見沢市や北見市等と比べるとどのように江別市が優位であるのか、弱点は無いのか、と言った分析が無い。</p>	60歳代	野幌地区
51	—	<p>③ 素案全体が総花的、抽象的でありすぎる。＝ 数値目標等の具体性がない。 素案の文章が総花的になることはある程度やむを得ないが、抽象的に過ぎることは問題である。各項目について、まるで市役所内各部の業務執行目標を書くが如く、「・・・に努める」とか、「・・・を支援する」、「・・・啓発を推進する」といった、まるで第三者的な作文のように見える。従って具体的な説得力がない。果して審議委員の方々もそのような意見であったのだろうか。審議委員の中にも、学識経験者(大学教授等)は勤務先等個人的な立場が明らかであるために発言に限界があることが想像され、また一般の市民委員は本音でものを言いたくても言いにくい状況であったことはなかったのだろうか。 行政当局者にしてみれば抽象的な表現は業務遂行上便利であろうが、当事者の市民にとっては不幸なことである。現代においては、可能な限り数値目標を入れるのが社会的原則であるが、素案にはそれが無い。</p>			
52	30	公共交通の活性化	<p>例えば、公共交通の再構築、というが一体いつごろまでに、どのようにしていくのか。バス事業者は全国的に存亡の危機に瀕していると聞く。江別市では別途「コミュニティバス検討会」を開いているようだが、それとの関係はどうなっているのか。</p>		
53	—	—	<p>来月(2013年8月)から野幌駅と北海道情報大学とを結ぶ貸自転車事業を行うようであるが、この計画自体が突然発表されたもので地元市民に根を下したのではなく(新聞報道で知りました)、即効的に計画し実行されようとしている。この様な「即効的」なもの、消え去るのも早いのではないかと。そうだとすれば市民税の無駄使いではないかと。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
54	—	—	以上、具体的に述べてきたが、私が常日頃感じていることをこの際に改めて書きたい。 まずは、素案中に再三強調されていることであるが、「市民との協働」というのがこれが全く実行されていない。早い話が、今回の意見募集自体、文書を見たのは情報図書館であるがそこには持ち帰るほどの分量は置かれておらず、漸く野幌公民館で入手したほどである。このような重要な案件は、全世帯に配布すべきではないか。「広報広聴の充実」というが、口先だけで実行されていないではないか。		
55	29	江別の顔づくり	次に「江別の顔づくり事業」についてであるが、この意見書の冒頭にも述べた通り、既に平成18年度から実施されている同事業の中間評価について、今回の素案の前提として何も記されていない。江別市の人口が減少し、高齢化が進む一方財政は厳しさを増すというのであれば、バブル時代の思想で策定された野幌駅周辺のた広大な計画は見直すべきではないか。そのような視点は今回なかったのか。「一旦決められたものは粛々と実行する」というのであれば、今次素案に言う「時代の変化に応じて常に見直す」という文章と矛盾するではないか。野幌駅周辺については、北側広場が出来上がった時点で一旦立ち止まり、将来人口や経済・財政状況を勘案して南側広場の計画を見直すなど、文字通り「柔軟な計画遂行、行政運営」が必要ではないか。関係者が勇断を持って検討されることを望みます。		
56	4	PDCAサイクル	2-(2) 進行管理について 「PDCAサイクル」による進行管理の「評価」において「成果指標の好評等による行政評価(市民参加による外部評価)」とあるが行政評価は市議会にやってもらうことはできないか。行政評価は市民の代表たる議員(議会)もやるべきだと思う		
57	14	まちづくりの基本理念	3-(2)-②めざすまちの姿について ◎ まちづくりの基本理念 「協働のまちづくり」の主体を市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などとしているが、ここでいう市民とはなにかが不明確であり、「協働」という言葉の概念が不明瞭になっていると思う。「協働のまちづくり」の主体たる市民とは、「個人事業主」とし、「自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などの構成員である市民(構成員として協働の主体である)」と区分する必要があると思う。また、構成員である市民は、事業主から協働の主体として対価を得ていることを明確に意識する必要があるとともに、個人事業主である市民は協働の主体として働く以上事業相当の対価を得ることができなければならないと思う。	60歳代	江別地区
58	14	めざす10年後の将来都市像	◎ 目指す10年後の将来都市像のイメージ 企業、大学、行政などの構成員である市民が高齢(定年)等によりその構成員として協働の主体でなくなったとき個人事業主として協働の主体となれるような都市、あるいは協働の対価の多寡にかかわらず事業主として認めることのできる都市、		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
59	36	協働	<p>政策08-02協働のまちづくりの推進について</p> <p>(3) コミュニティー活動への支援と相互連携 協働のまちづくりにおいて、行政がコミュニティー活動への支援という表現に違和感を感じる。コミュニティー活動との連携と相互支援と表現すべきだと思う。</p> <p>表現の問題ではないが、たとえば豊幌町内自治会予算書の収入の部に街路灯補助金(前年度実績×60%)とあり、市が自治会を支援しているようなイメージがあるが、その実態は自治会が40%支援しているのではないかというような違和感である。</p> <p>(4) 市民活動団体の支援と相互連携 前述と同趣旨</p>		
60	29	都市基盤	<p>この計画の期間中、投資額が40～50億円にも及ぶ最大の事業「新市庁舎の建設」を05-01-(1)として、もり込んでください。江別の顔づくり(2)にくりさげ、以下同じ。</p> <p>(理由)</p> <p>1.防災と復興の司令部の耐震化は先送り出来ない事業です。</p> <p>2.新庁舎には耐震化だけでなく機能の充実も求められます。例えば09-02であげている広報、広聴の充実のためには庁舎1階の正面に「公開コーナー」とあわせて職員が対面で接するようなスペースが必要です。</p> <p>3.JRで札幌都心部に直結している江別市には、商業上の中心市街形成は無理があります。野幌地区を中心市街地としたいのならば、市庁舎の移転は、その一助となるかも知れません。</p>	80歳代	大麻地区
61	—	公園	<p>子育て教育分野の子育て環境の充実について述べます。日頃子育てスタッフとして、子ども達と接している者です。感じた事について意見を申します。よろしく申し上げます。</p> <p>幼児が自由に遊べる場は市内の公園を利用して、水の流れているところなど沢山見られ充実してきている様に思います。水あかなど、ぬめりにも注意して、デッキブラシ等で細めに掃除されているし、さらに充実を図っていただきたい。ブランコの下足場は、ゴムマットで調整されてきているので良いですね。</p>		
62	—	子育て支援	<p>雪の多い冬の江別では、幼児用の遊ぶ「たまり場」的建物が少ない様に思います。近隣では「川下公園」内の建物を利用したことがあります。子供たちは遊具ではしゃぎ回って楽しんでます。それに類似の建物を建設してほしいです。「すくすく」はそれの代替にはなり得ない様に思います。</p>	70歳代	江別地区
63	—	子育て支援	<p>プールについては、小学生以下の子ども達が利用出来るものがあつたら良いと思います。幼児用のを作っているところもありますし、プールの深さを調整出来る施設も道北の市・町ではあります。土別市や美深町など。是非ご一考をお願い致します。</p>		
64	27	安全・安心	<p>04-01-(1)「交通安全の推進」 自転車による事故を防ぐために、自転車運転ルールを市民が学ぶ場を実施し、また啓発活動を広げてほしい。</p>		
65	28	安全・安心	<p>04-02「地域防災力の向上」 この項には、万が一原発による災害が起きる、または起きたと想定した対策についての記述がないのですが、泊原発が身近にある江別市としては考えなくてはならないのではないのでしょうか。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
66	29	都市基盤	05-01-(2)「公園整備の推進」 山や丘のない江別市では、特に冬期間子どもたちが屋外で遊べる場がありません。幼児や学童、冬休みや土・日曜など運動不足にもなります。できれば市内の大きい公園2~3か所にそり滑りのできる坂を作って頂きたい。飛鳥山や何ヶ所かすでに活用されているところもあるようですが、もっと身近で子ども自身が出かけられる範囲にあると冬も楽しい季節になると思います。毎年、第二中学校校庭に設置されるスケートリンクは、好評ですね。もっとPRをされると良いのではないのでしょうか。	60歳代	野幌地区
67	31	子育て・教育	06-01-(1)「母子保健の充実」 母性の保護のためには、父性である父親の役割(サポート)も大切であると考えます。両親教育や祖父母までも視野に入れた取り組みで、母親の育児負担感を軽減し、子育てを楽しいものにしていかれるのではないのでしょうか。		
68	31	子育て・教育	06-01-(2)「地域子育て支援の充実」 ファミリーサポート事業の利用料金について、一時間600円の利用者負担をもう少し引き下げることはできませんか。サポート受け手として私自身も登録していますが、数時間または兄弟姉妹、複数のお子さんと利用しようとする負担が大きく利用しないこととなります。		
69	31	子育て・教育	06-01-(5)「療育支援の充実」 療育を受ける子ども自身への支援と共に、その家庭の療育疲れ・負担へのサポートがあると、良いのではないのでしょうか。(すでに、何か実施されているかとも思いますが)		
70	32	子育て・教育	06-02-(1)「教育内容の充実」 すでに授業のなかで実施されていることかもしれませんが、江別の子どもたちに江別の歴史・文化・自然・産業について丁寧に学ばせて欲しいと思います。自分の町のことを知ることは、誇りと愛着、子どもなりに町を良くしたいという気持ちを育てることにつながると思います。		
71	33	生涯学習・文化	政策07「生涯学習・文化」 市内には、それぞれの分野(学術研究・文化・芸術・スポーツなど)で優れた業績をお持ちの方々がいらっしゃいます。その方々の協力をいただき、講演会・実技講習など市民とふれあう機会を設け、市外からも人々を招き、江別市を紹介してはいかがでしょうか。		
72	14	まちづくりの基本理念	めざすまちの姿(1)④環境にやさしいまち→自然環境として野幌森林公園と石狩川があげられていますが、世田豊平川の環境改善に取り組んでください。汚染がひどくドブ川になっています。屯田川もそうです。		
73	15	都市づくり	(4)都市づくり②自家用車に過度に依存することなく→賛成。そのためには自転車の分担率を飛躍的にあげる対策が必要と考えます		
74	21	自然・環境	01-01-(2)「水と緑の保全」→世田豊平川と屯田側の環境改善。とくに世田豊平川の五丁目の下流域に工場廃水が垂れ流しになっています。		
75	26	福祉・保健・医療	03-05-(3)「国民健康保険制度の安定」→安定を否定はしませんが、保険税が高すぎます。とりわけ低所得者や軽減世帯ほど高負担率になっています。全般的に取り過ぎですので、所得に応じて保険税引き下げ改定をしてください。		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
76	28	安全・安心	04-02-(2)(3)「防災意識の向上」・「防災体制の強化」→泊原発に対する防災意識と対策がありません。放射能汚染は偏西風に乗って江別にも拡大する可能性を否定できません。それなりの研究と対策が必要と思います。	70歳代	野幌地区
77	29	都市基盤	05-01-(1)「江別の顔づくり」→地域活性化に貢献しません→凍結・見直しの時期です。		
78	29	都市基盤	05-01-(2)「公園整備の推進」→障害者に対する安全性が確保されていません。たとえば、錦町公園は階段だらけで障がい者は公園の中央には近づけませんし、東屋の3段の階段を上げられません。ほとんどの公園に野外卓がありません。背もたれ付きベンチがある公園が少なすぎます。たとえば錦町公園は皆無です。平ベンチではくつろいで公園ですごすことができません。東屋の正方形(120センチ×120センチ)の平ベンチは不便です。むしろ、野外卓を囲む平ベンチのセットのほうが便利だとの意見も多いようです。		
79	29	都市基盤	05-01-(5)「バリアフリーの街並みづくり」→街路のバリアフリー化とともに夜暗い街路の解消に努めてください。例えば八丁目通の二番と三番通の間。歩道の街路灯が必要と思います。		
80	30	都市基盤	05-02-(1)「安全で快適な道路環境づくり」→野幌駅高架にともなう南北道路に信号も横断歩道もなく危険極まりない状態が続いています。早急に対策を講じてください。また、鉄東線の北側など2メートル以下の(市道の)歩道が散見されます。狭い歩道での事故の可能性がありますので、早急に拡幅が必要と思います。		
81	33	生涯学習・文化	07-01-(1)「社会教育関連施設の充実」→野幌公民館のロビーの照明不足の解消と、通年の月曜閉館を解消してほしいと思います。		
82	33	生涯学習・文化	07-01-(1)「社会教育関連施設の充実」→図書館の資料の充実は当然として、今どき10時開館は納得いきません。他の公共図書館は10時前(9時、9時15分など)のところが増えています。昼食の関係もあり、午前の2時間では使い度が悪すぎます。		
83	—	—	はじめに 「新しい江別市総合計画」を読まさせていただきましたが、何か物足りないものに思えました。来年度から進めるにしては、極めて一般的、抽象的で目指しているものが明確でないように感じました。 江別市として少子高齢化社会にあって、地方自治法の「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担う」提言とは言いがたいのではないかと。新しい総合計画に、具体的な施策を示して意見を聞くべきと考えます。 2年前に「策定方針」について意見を具申しましたが、このまま粛々と計画を進められそうなので、今一度一言意見を提出します。		

【「えべつ未来づくりビジョン＜第6次江別市総合計画＞」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
84	21	自然・環境	<p>1. 人と自然の共生</p> <p>私は、江別市のこの自然環境に対する計画に賛同いたします。人は、自然に働きかけても破壊しては存在できません。これまで過度に自然破壊を進めてきましたが、これからは環境保全に力を尽くさなければなりません。日本は2度原爆を投下され、今なお苦しめられている人々が存在します。その上福島第一原発の事故により非難を余儀なくされています。後世にむけ放射能汚染の拡大をくい止めねばなりません。江別市として非核都市宣言を行い、原子力発電の再開中止を求めるべきと考えます。様々な施策にふれる前に明確にすべきことではないでしょうか。（政治的見解の相違があり触れてはいけないことでしょうか。）</p> <p>その上で再生可能エネルギー利用の推進を進めましょう。市民への浸透とともに、推進の補助を検討されるよう求めます。</p>	60歳代	野幌地区
85	23	産業	<p>2. 産業</p> <p>02-01 農業経営の安定化が提起され心強く思いました。農業は人類の生存に欠かすことが出来ません。日本の農業は自給率が大きく落ち込んでいます。自給率の低下に一層の拍車を掛けるのがTPPと考えます。TPPへの参加に反対しないで農業の推進を言うのは疑問です。</p> <p>さて、北海道は寒冷地であり農業に適した土地です。光合成により無から有を生み出す農業を大いに奨励して下さい。安心・安全を追求し、地産地消とともに大いに売り出す工夫をお願いします。農業従事者の所得が労多くして少ないことが明らかとなっています。TPP参加反対と農家への所得保障などを国に働きかけると共に、市独自の施策を考え進めて下さい。</p>		
86	23	産業	<p>02-02 商工業の振興では意見を持ちません。が、札幌のベッタウンであり、多くの市民が札幌市へ通勤し、買い物をして帰ってくる。必要なときは札幌へ買い物に行くことを考えますと、地域ごとに生活物資の商店街を追求すべきと考えます。買い物に便利な巡回バスなどの導入が欠かせません。札幌市商店街に対抗することはできません。</p>		
87	25	福祉・保健・医療	<p>「だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします」に大賛成です。地域医療体制と市立病院経営の安定をうたっていますが、市立病院経営の改善にのみ偏重してはいけないと考えます。</p> <p>ここでは児童・障がい者・老人など弱者の立場に立って施策を進められることを求めます。それぞれの法律の精神に基づき進めて頂きたい。</p>		
88	26	福祉・保健・医療	<p>03-04 高齢者が閉じこもることなく、社会参加することを提言されていますが、若者の仕事・生活の安定を脅かしてはならないと考えています。社会参加の名の下に安価な労働力として若者を圧迫していないか。</p>		
89	26	福祉・保健・医療	<p>個人的には老人福祉法が大好きで、その実現を求めてやみません。老人健診の充実と老人医療費の無料化から遠く離れてしまいました。再検討をしてください。高齢者の健康増進には公共施設の活用を進めましょう。</p>		
90	26	福祉・保健・医療	<p>後期高齢者医療制度は多くの国民が反対を唱えたものです。この制度の安定を言う事は、高齢者の意向を逆なでするもので正しくないと思います。再考を促します。</p>		

【「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
91	29	都市基盤	5. 都市基盤 政策展開の方向性では美しく描かれています。しかし、「駅を中心とした賑わい」の町になっているのでしょうか。江別市には豊幌、江別、高砂、野幌、大麻と五つの駅がありますが、いずれも駅を中心としたにぎわいがつくりだされていません。どこも大型店舗に食い荒らされ、個人商店は疲弊しています。 これを市政で立て直すと言うならビジョンを示して下さい。地元商店街に失礼とは思いませんか。絵空事を書くべきではないと考えます。		
92	29	都市基盤	「江別の顔づくり事業」は、駅周辺の自動車走行により危険がまることが予想されます。通り抜けには便利でも活性化に逆行する施策と考えます。今一度立ち止まって検討してはいかがでしょうか。危険な百間境の解消など、「顔づくり」を強行する前にやるべき整備事業が山積みと考えます。		
93	31	子育て・教育	6. 子育て・教育 子育て環境の充実には、子どもを産み育てる若者の居住が欠かせません。江別市の就労環境はどうか、通勤者の利便性と住環境の整備・補助は検討されているのか。この大前提を整備することが必要と考えます。		
94	31	子育て・教育	その上で、母性の保護、子どもの医療、保育などの施策を進めてください。乳幼児医療費の助成を大幅に拡大すべきではないでしょうか。		
95	32	子育て・教育	教育では、教師の過度の負担を軽減しなければならないと考えます。「変化の激しい社会」の中で、競争に明け暮れるのではなく、他人(ひと)を思いやる子どもたちの育成を進めましょう。そのための環境作りの市政を求めます。		
96	35	協働	8. 協働 市政への市民参加の拡大が強調されています。これは粘り強い取り組みが求められます、通り一遍の意見聴取や計画推進の為のアルバイトづくりではこまります。		
97	35	協働	自治会との連携の下と言及されています。ぜひ自治会会員を相手に意見聴取にお越し下さい。準備期間などをいただき、関心ある事項を明らかにし招集いたします。ただ、自治会は、①会員相互の親睦を図り、②住み良い地域社会をつくることを目標にしています。政治的な問題を議決することはありません。会長や役員の見解はあくまでも個人の意見でしかありません。地区連の会長と言えどもこの基本は変わりません。注意を喚起すべきかと考えます。		
98	—	—	ながながと記して来ましたがこの辺で止めます。誤字・脱字、誤った言葉遣いにはご容赦願います。ただ、住み良い「まち」にしたい一心です。そのためには、光合成と動物との関係に思いを馳せ、自然と人間の関係(の真理)に基づき述べさせていただきました。政治的発言とは考えていません。お含みいただければ幸いです。 施策にあたっては、日本国憲法、地方自治法をはじめ関係諸法にのっとり行われるものと考えます。特に、老人福祉法に精通いただきたい。また、2年前の意見具申も参考にしてください。		

【「えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>」素案に関するご意見】

No.	素案のページ	項目	寄せられたご意見	年齢	地区名
99			<p>・10年後をふまえた総合計画を策定するにあたり、様々な視点から政策を検討していくのですが、その中でも中心としたいものがわかりにくいです。</p> <p>今後さらに人口減少と少子高齢化が予測される中、まちに活気があって住みたいと思われよう環境づくりをすすめる政策が求められます。</p> <p>江別は大都市札幌に近接し、利便性がありながら、緑が多く、食料生産を担う農業も盛んな安らぎを感じるまちです。子育て世代が住みたい・住み続けたいと思うような政策を総合計画の中心に据えることが、まちの人口減少に歯止めをかけ、また高齢者にとっても元気の生活営むことになると考えます。</p> <p>そのためには、子育て世代が安心して住める政策を、政策06の子育て・教育の分野だけでなく、9つの政策それぞれの中に位置づける必要があると思います。</p>		
100			<p>例えば、政策04の安全・安心の04-01 安全な暮らしの確保には、食の安全・安心を加える必要があると考えます。子育て世代は子どもに安心して食べさせられる食を求めているはずで、日常の食材に、市内の生産者が安全性を希求して生産したものを適正な価格で購入できること、給食では誰がどこでどのように生産した材料で作ったのかわかるもの、そして添加物等がなく食文化が継承される献立を供給することが子ども達やその家族にとって大切なことです。</p>	—	野幌地区
101			<p>また、政策01の自然・環境の01-01 人と自然との共生には、自分達が使用する水や排水する水について関心を持つような政策を加えるべきです。水は全ての生き物の命の源です。地球上の水のうち、人が使える水はごく一部であり、又循環しているものですから、使った水にその先に住む水中生物等に悪影響が懸念されるものを流さないことが当たり前実践できる大人や子どもを育む政策を盛り込んでください。さらに、01-02 循環型社会の形成には廃棄するものを最小限に抑えるため、リデュース・リユースをメインにした取り組みを進め、人や環境中に住む他の生き物に有害性が懸念される化学物質等を削減し、次世代に豊かな自然環境を残せる政策をすすめてください。</p>		
102			<p>・総合計画策定にあたり開催した市民説明会での意見・要望や、今回のパブコメで出される意見等を十分にふまえて計画を策定し、次世代に自信を持って渡せるまちづくりをすすめてください。</p>		
103	—	—	<p>レゾエミリア教育アプローチやレミダ・レミダデーなどの取組の導入提案(詳細な企画書による提案)</p>	—	大麻地区